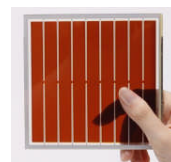


平成 22 年度静岡県環境産業創出事業(技術力向上セミナー)



これからの太陽電池

「色素増感太陽電池」の 現状と将来の展望



既存の太陽電池はセルの価格や原料シリコンの確保など多くの課題を抱えています。そのため、次世代太陽電池の開発が盛んに進められていますが、その中で、最近注目されている電池の1つに色素増感太陽電池があります。製造するのに大がかりな設備を必要としないため、将来的に中小企業でも参入可能なこの太陽電池について、知識を深めてください。

主催: 静岡県、静岡県資源環境技術研究会

後援: (社)静岡県環境資源協会、静岡県環境ビジネス協議会、静岡燃料電池技術研究会、静岡県新材料技術研究会、静岡県プラスチック技術研究会

- 日時 平成 22 年 11 月 16 日(火) 13:30~16:30
- 会場 B-nest 静岡市産学交流センター・中小企業支援センター
プレゼンテーションルーム
(静岡市葵区御幸町 3-21 ペガサート 6 階、TEL 054-275-1655)
- 内容

講演 1: 13:35~14:25 (50 分)

「色素増感太陽電池のしくみと高効率化の取り組み」

静岡大学 工学部 物質工学科 准教授 奥谷 昌之氏

色素増感太陽電池はシリコン系に比べ非常に安価に作製することができます。本講では、色素増感太陽電池の基礎的な解説とともに、実際に本研究室で取り組んでいるスプレー熱分解 (SPD) 法を利用した色素増感太陽電池の作製、高効率化および大面積モジュール化について紹介します。

講演 2: 14:25~15:15 (50 分)

「色素増感太陽電池の実用化に向けた研究開発」

(株)豊田中央研究所 主任研究員 加藤 直彦氏

次世代太陽電池として期待されている色素増感太陽電池(DSC)の研究開発が世界中で行われています。本講演では、DSCの特徴と要素技術に言及し、様々なタイプのDSCのモジュール化と屋外暴露による実証試験を行い、発電挙動や耐久性について、得られた知見を紹介します。

15:15~15:25 休憩

講演 3: 15:25~16:15 (50 分)

「フレキシブル色素増感太陽電池の開発 — 用途と市場創生」

桐蔭横浜大学大学院工学研究科 教授 宮坂 力氏

色素増感太陽電池は低コストを特長とする一方で、CIGS 等の薄膜太陽電池との競争の中で、高効率化、長寿命化の課題を抱えています。フレキシブル化はこの状況にありながらも、ユーザー用途をこれまでない分野に広げ、新市場を創生するための重要な技術戦略であることを紹介します。

- 定員 50名（定員を超え次第、締め切らせていただきます。）
- 参加費 無料
- アクセス

- ・JR 静岡駅から徒歩 5 分
- ・静岡鉄道新静岡駅から徒歩 1 分



- 申込〆切
- 申込方法

平成 22 年 11 月 12 日(金)

①会社名・会社住所 ②所属・氏名、③連絡先(TEL 等)を明記の上、メールでお申し込みください。

(メールが都合の悪い方は、下記の FAX 票をお使いください)
 ※参加票はありません。定員超過で御出席いただけない場合には、事務局から御連絡いたします。

- 問合せ・申込先

メールの場合⇒

E-mail: ootake@iri.pref.shizuoka.jp

静岡県資源環境技術研究会事務局 大竹

TEL 054-278-3026、FAX 054-278-3066

FAX の場合 ⇒ (以下の表に記入の上、お申し込みください)

FAXによる参加申込欄		FAX:054-278-3066、大竹宛		
会社名				
会社住所	〒			
連絡先	TEL			
	メール			
参加者	所属・役職		氏名	
	所属・役職		氏名	